

大正十四年 茨城縣統計書第二編 學事ノ部

管内學事ノ狀況

總 說

本年度ニ於ケル本縣學事ノ狀況ヲ約言スレハ大体從來ノ方針ニ依リ施設經營ノ歩ヲ進メ之カ發達進步ヲ期シタリト雖モ時勢ノ進運ニ伴ヒ教育振興上幾多改善ヲ要スル所アルヲ認メ小學教育中等教育、實業教育、師範教育、社會教育等夫々其ノ内容ノ充實ヲ計リ各其ノ實績ヲ收メムコトニ努メタリ

即チ尋常小學校校數並ニ位置ノ變更、高等科ノ併置、校舍ノ新築増築等其ノ土地ノ狀況ト市町村ノ財政トヲ參酌シ教育資金ノ貸付基本財産ノ繰入等便宜ヲ與ヘ着々設備ノ完成ヲ促シ更ニ小學教育ノ普及發達並其ノ内容改善ノ基調タル男女兩師範學校ノ擴張ヲ實行シ又一面ニ於テハ教員講習會研究會協議會等ヲ開催シテ其ノ資格向上ニ學力技能ノ修練ニ便セリ、而シテ之カ監督指導等ヲ周到ナラシムルカ爲學事指導員十三名ヲ囑託シ中等教育及初等教育ノ指導獎勵ニ當ラシメ尙教員俸給ノ増加、年功加俸、住宅料、疾病療治料、功勞者ノ表彰等ヲ行ヒ教員優遇ノ實ヲ舉ケンコトニ努メタリ。

社會教育ノ普及發達ヲ計ラム爲圖書館又ハ簡易巡回文庫ノ設置ヲ獎勵スルト共ニ各種ノ展覽會、講習會、發表會、講話會等ヲ開催セリ、又青年團處女會等ニ就テハ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ恪遵シ內務文部兩大臣ノ訓令ニ依リ本縣ノ實狀ニ照シ智德ノ練磨ト体育ノ向上トヲ計リ日進ノ大勢ニ遅レサランコトヲ期シ尙補習教育ノ發達ニ順應シテ益々善良ナル氣風ヲ養成スルト共ニ思想ノ善導ヲ計ランカ爲各地ニ青年團幹部講習會、處女會指導者講習會等ヲ開キテ其ノ歸趨ヲ過ラシメサランコトヲ期セリ、更ニ學校教育ト社會教育乃至ハ實業界トノ連絡ニ關シテモ常ニ其ノ交渉ヲ密接ナラシメ互ニ稗補提携シテ眞ノ事業ノ振興ヲ計ラシメツ、アリ。

其ノ他年度内郡市長、郡視學、學事主任者等ヲ會同シテ學事上ノ施設並監督指導等ニ關スル諸般ノ諮問又ハ指導協議等ヲ行ヒ苟モ遺漏ナカラシメンコトヲ期シツ、アリ。

年度内學事ニ關シ令達シタルモノ縣令十七件訓令五件、告示十件ニシテ其ノ要領ヲ摘記スレハ次ノ如シ。

縣 令

一、茨城縣師範學校學則改正(縣令第二二號)
(大正十四年五月十五日)

- 一、茨城縣女子師範學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣師範學校卒業生服務細則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立圖書館規則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立商業學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立高等女學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、高等學校高等科入學資格試驗檢定規程改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立水戸農學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立石岡農學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立笠間農學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立大子農學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立江戶崎農學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立鹿島農學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立眞壁農學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立商業學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立中學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日
- 一、茨城縣立工業學校學則改正(縣大令第十號)五月十五日

訓 令

- 一、學事年報取調條項及諸表樣式改正(訓大令第十四號)四月十四日
- 一、公立實業學校調查事項報告件(訓大令第十四號)四月九日
- 一、縣立學校校長職務規程中改正(訓大令第十四號)四月九日
- 一、郡市町村立學校圖書館職員職務規程中改正(訓大令第十四號)四月九日
- 一、學事年報取調條項及諸表樣式改正(訓大令第十四號)四月九日

告 示

- 一、茨城縣石岡實科高等女學校授業料改正(告大令第十四號)四月十四日
- 一、久慈郡太田實科高等女學校授業料改正(告大令第十四號)四月十四日
- 一、北相馬郡取手實科高等女學校授業料改正(告大令第十四號)四月十四日
- 一、全校授業料入學手数料(告大令第十四號)四月十四日
- 一、兒童就學獎勵基金管理規則改正(告大令第十四號)四月十四日
- 一、男女青年團體事業獎勵基金管理規則改正(告大令第十四號)四月十四日
- 一、茨城縣立龍ヶ崎實科高等女學校名稱改正(告大令第十四號)四月十四日
- 一、水戸市立高等女學校授業料入學試驗手續改正(告大令第十四號)四月十四日
- 一、久慈郡太田實科高等女學校授業料改正(告大令第十四號)四月十四日

學 齡 兒 童

學齡兒童總數二十六萬三千五百六十八人、男十三萬三千百九十人、女十三萬三百六十八人ニシテ前年度ニ比スレハ男千八百八十七人、女千四百三十二人ノ増加ナリ而シテ就學兒童總數ハ二十二萬七千七百八十九人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ男三百四十一人、女百四十四人ヲ減シタリ。

而シテ就學ノ始期ニ達シタル學齡兒童ニ對スル就學歩合ハ男九十九人四分八厘、女九十九人二分四厘ニシテ前年度ニ比スレハ男ニ於テ三厘、女ニ二分三厘、男女平均ニ於テ一分四厘ヲ増加シタリ。

就學及出席ノ督勵ニ關シテハ法規ノ勵行ヲ圖リ町村吏員、學校職員ヲ督勵シ專ラ勸誘ニ當ラシメ又學齡兒童保護會及市町村教育會ノ活動ヲ促シ或ハ部落相互兒童ノ出席督勵ヲ獎勵スル等各種機關ヲ通シ之カ實行ニ努メツ、アリ

就學猶豫免除ノ處分ヲ了シタルモノノ多クハ其ノ原因疾病不具者ニシテ貧困ノ爲ニ依ルモノ少ナシ貧困ノ爲就學セサル兒童ニ就テハ相當救濟ノ途ヲ考慮シツ、居ルモ未タ實現ノ運ニ至ラサルハ遺憾ナリ。

學齡兒童調査ニ關シテハ縣ハ時々吏員ヲ派シテ之カ調査監督ノコトニ當ラシムルト共ニ郡市役所事務檢閲ノ際年々指示注意ヲ與ヘ又規定ノ學齡簿檢閲ノ外學事年報調製前郡内數ヶ所ニ町村學務擔任書記及小學校長ヲ召集シ學齡簿出席簿其ノ他就學事務檢閲ヲ行ハシメカメテ帳簿ト實際トヲ一致セシムル様督勵シツ、アリ小學校令第三十六條第一項但書ニ依ルモノ、中師範學校附屬小學校ニ於テ修業スルモノハ男二百四十五人、女二百二十一人ナリ又家庭其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者ハ男一人、女三十五人ニシテ是等ノ多クハ工場法ニヨリ工場ニ於ケル施設ニ係ルモノナリ而シテ教授時數ハ一週少ナクモ十二時以上トシ須要ナル學科ヲ授ケツ、アリ教員ハ概ネ小學校教員ヲ聘シ居レリ。

小 學 校

市町村立尋常小學校百五十三校、分教場四校、尋常高等小學校三百八十八校、分教場百七校、計六百五十二校ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ四校ヲ減シタリ而シテ學校ノ種類ニ依リ其ノ増減ヲ比較スレハ尋常小學校ニ於テ本校六校、分教場一校ヲ減シ尋常高等小學校ニ在リテハ本校三校、分教場一校ヲ増シ高等小學校ニ在リテハ一校アリタルモ前年度限廢校シタリ。

學校ノ設備ニ於テハ數年來ヨリ督勵ノ結果漸次整備ノ域ニ達セントシツ、アルモ逐年兒童増加スルヲ以テ校舍ノ増築改築ヲ必要トスルモノ校地ノ擴張ヲ要スルモノ尠ナカラス。

市町村立小學校ノ學級ハ尋常科三千七百七十四、高等科七百七十二、補習科一計四千五百四十七學級ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ百十五學級ヲ増加シ

タリ而シテ其ノ編制タルヤ尋常科ハ單級ノモノヨリ三十六學級ノモノニ至ル其ノ内最モ多キハ六學級ニシテ三學級ノモノ之ニ亞キ高等科ハ單級ノモノヨリ八學級ノモノニ至ル其ノ内最モ多キハ二學級ニシテ單級ノモノ之レニ亞ケリ又學級ノ制限超過編制ヲナスモノ尋常小學校ニ於テ二十四學級、三十六學級ノモノ各一校尋常高等小學校ニ於テハ二十一學級、二十二學級、二十三學級、二十五學級、二十七學級、三十學級、三十六學級ノモノ各一校十九學級二十四學級各二校ナリ學校配置ノ狀況ハ概ネ適當ノ位置ニ在リ而シテ特ニ兒童通學上困難ナル地方ハ分教場ヲ設置セシメ又一方通學道路ノ改修ヲナサシメツノアルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メス。

補習科ノ設アルモノ尋常小學校一校ニシテ前年度ニ比シ増減ナク而シテ特記スヘキ事項ナシ。

加設科目ハ尋常小學校ニ於テ手工ヲ課スルモノ五十一校(分教場共)尋常高等小學校尋常科ニ於テ手工ヲ課スルモノ二百十九校(分教場共)ニシテ高等科ニ於テ手工、農業、商業、家事、其ノ他數科ヲ課スルモノ三百八十六校ニシテ孰レモ該科加設ノ目的ニ從ヒ内容改善ヲ圖リツノアリ。

授業料ハ尋常科ニ在リテハ徵收セシメサル方針ナレトモ、市町村財政上眞ニ已ムヲ得サル爲之ヲ徵收スルモノ尋常小學校三校、尋常高等小學校(尋常科)三校計六校アリ然レトモ貧困者ニ對シテハ相當減免ノ方法ヲ設ケアルヲ以テ國民義務教育ノ普及上別段ノ支障ヲ認メス。

教員ノ需要供給ニ關スル縣内小學校ノ教員充實歩合ヲ示セハ次ノ如シ。

學級數	男女別	本科正教員	專科正教員	准教員	代用教員	計	學級ニ對スル本科正教員充實歩合
4,469	男	2,627	117	360	446	3,550	74.00
	女	680	341	45	274	1,340	
	計	3,307	458	405	720	3,890	

以上ノ如ク本科正教員ハ三千三百七人ニシテ學級數四千四百六十九ニ比スレハ百學級ニ對シテ七十四人ノ配置ニ當レリ而シテ教員ノ不足並其ノ質ノ良否カ兒童教育上ニ及ホス影響甚々大ナルヲ以テ縣ハ年度内ニ於テ男女兩師範學校擴張ノ計畫ヲ立テ大正三十三年度ヨリ之カ實施ニ着手シ向フ十ケ年間ニ本科正教員ノ充實歩合ヲ學級數百ニ對シテ八十五パーセントニ達セシメムトス。

更ニ臨時的應急策トシテ縣教育會ヲシテ中等學校卒業生ノ爲ニ短期講習ヲ開カシメ其ノ終了試驗合格者ニ對シ尋常小學校本科正教員ノ免許狀ヲ授與シ尙毎年定期ニ小學校教員試驗檢定ヲ行ヒ其ノ資格ヲ向上セシメ以テ需要供給ノ圓滑ヲ計リツノアリ。

教員ノ任免ニ就テハ特ニ之ヲ慎重ニシ可成勳績ヲ獎勵シ一面ニ於テハ市町村ヲシテ義務教育費國庫負擔金ノ大部分ヲ以テ教員俸給ニ充當セシメ待遇ノ向上住

宅ノ施設住宅料ノ支給等經濟ノ許ス限リ之カ優遇ノ方法ヲ講セシメツ、アリ。

幼 稚 園

幼稚園ハ公立六私立八計十四ニシテ前年度ニ比シ増減ナシ而シテ其ノ設備モ漸次改善ヲ加ヘラレツ、アリ幼兒男五百十七人、女五百五人計千二十二人ヲ收容シ保母二十八人兼務者五人ニシテ之ヲ保育シ居レリ本年度保育滿期者ハ男三百六十一人、女三百六十五人ナリ。

師 範 學 校

師範學校ハ縣立二校ニシテ其ノ設備ニ關シテハ前年度述ヘタル如ク年々生徒定員増加ニ伴ヒ師範學校ニ在リテハ校舍寄宿舎共ニ狹隘ヲ告ケ校舍一棟(普通教室五、圖畫教室一、圖畫準備室一)ヲ増築シ逐次完備ヲ期シツ、アリ尙校具器械標本等ハ舊式ニ屬スルモノ多ク之カ改善補充ヲ要スルモノアリ。

教員ノ需要供給勤續轉免俸給其ノ他待遇上ニ關スル狀況ニ就テ略記スルニ教員ノ多クハ勤續多年ニ亙ルト雖年度内異動アリタル轉任者三人、休職者四人、退職者一人ニシテ之カ補充トシテ高等師範卒業生及其ノ他ノ方面ヨリ招聘スルヲ得タリ。

俸給ハ教諭平均額師範百十五圓、女子師範百六圓、訓導平均額師範七十五圓、女子師範七十三圓ニシテ年功加俸ハ四十八圓乃至百二十圓ヲ支給ス而シテ待遇モ漸次改善セラレツ、アリ。

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ハ別表ノ如シ。

學 校 名	有 資 格 教 員														無資格		計									
	高等師範學校		臨時教員養成所		官立大學		公立大學		私立大學		專門學校		實業學校		其他				計	教員						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女								
	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業	校卒業							
茨城縣師範學校	14	—	1	—	1	—	—	—	—	—	3	—	—	—	2	—	5	—	26	—	△*	2	—	△*	2	26
茨城縣女子師範學校	5	3	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	8	6	△	2	2	△	2	8
計	19	3	2	1	1	—	—	—	—	—	3	1	—	—	2	1	7	—	34	6	△*	4	2	△*	4	8

備考 *印ハ兼務者 △印ハ囑託講師

生徒訓育ノ狀況ハ教育ニ關スル御趣旨ニ基キ大体從來ノ方法ヲ繼承シ大要前年度ト異ナル所ナキモ特ニ學校長ハ必要ニ應シ隨時講堂訓話ヲ行ヒ生徒ノ自覺修養ヲ指導シ校風ノ樹立ヲ計リ常ニ思想ノ善導ニ留意スルハ勿論各學科教授ノ際苟モ機會アル毎ニ教育者タルノ品性ノ陶冶ニ努メ以テ其ノ信念ヲ鞏固ニシ且体

育方面ニ於テモ從來ノ施設ヲ一層徹底的ニ自覺的ニ實行セシメ身體ノ鍛鍊ト健康ノ増進トヲ圖リツヽアリ。

生徒ノ學業ニ就テハ生徒ヲシテ自學自習ノ習慣ヲ獎勵シ且ツ圖書館ノ利用實地ノ見學等實際的知識ノ收得ニ努ムル様指導シタル結果學業ノ成績漸次進歩ノ域ニ向ヒツヽアリ。

生徒修學旅行ハ地理歴史理化ニ關スル研究實地踏査博物採集又ハ參觀ノ目的ヲ以テ關東關西北陸地方其ノ他縣内數ヶ所ニ旅行ヲナシ豫定ノ目的ヲ達シ生徒心身ノ鍛鍊上少ナカラサル効果ヲ收メ得タリ。

入學志願者ハ逐年増加ノ傾向ニアリ本年度ハ新設ニヨリ第一第二學年ヲ募集シタルヲ以テ第一部千五百三十八、第二部三百二十人ナリ、而シテ大正十年度以降ノ入學志願者ヲ舉クレハ次ノ如シ。

種 別	大正十年度	全十一年度	全十二年度	全十三年度	全十四年度
師範學校 { 第一部 { 第二部	179 48	278 58	244 79	370 109	658 163
女子師範學校 { 第一部 { 第二部	170 40	199 53	208 68	376 103	495 157
合 計 { 第一部 { 第二部	349 88	477 111	452 147	746 212	1,153 320

本年度入學者父兄ノ職業別ハ別表ノ如シ。

學 校 名	農業	水産業	鑛業	工業	商業	交通業	公務自由業	其ノ有業者	他家使用人	無職業	計
茨城縣師範學校 { 第一部 { 第二部	171 49	— —	— —	5 1	9 2	— —	37 15	5 —	— —	4 4	231 71
女子師範學校 { 第一部 { 第二部	82 28	— —	— —	1 —	23 12	— —	31 10	17 13	— —	5 7	159 70
合 計 { 第一部 { 第二部	253 77	— —	— —	6 1	32 14	— —	68 25	22 13	— —	9 11	390 141

本年度卒業者ハ師範學校本科第一部六十四人第二部六十九人女子師範學校第一部三十七人第二部三十九人ニシテ孰レモ縣下各小學校ニ就職シタリ。

附屬小學校ハ二校ニシテ其ノ設備ハ略ホ備ハレリ兒童ノ教養ニ關シテハ大体從來ノ主義方針ヲ繼承シ教授ハ實力養成ヲ主眼トシ知識技能ヲ確實ニ學習セシメ自學自習ノ訓練ニヨリテ自發活動ヲ促シ以テ教授上ノ發達ヲ期セリ尙教授法ノ改善ニ努ムルト共ニ兒童心身ノ發達ニ留意シ學校ト家庭及縣下各小學校トノ連絡ヲ圖リ地方諸會ノ招聘ニ應ジ主事及訓導ノ講話或ハ實地指導ニ出張シ又地方ヨリ來觀スルヲ以テ諸般ノ成績漸次良好ニ進ミツヽアリ。

以上ノ外縣下小學校聯合教育研究會ヲ兩師範學校ニ開催セシメ「修身及學校經營」

營ツキ協同的研讀ヲ遂ケタリ。

中 學 校

中學校ハ縣立七校ニシテ前年度ト異ナルコトナク其ノ設備ハ各校共教育ノ普及ニ伴ヒ生徒定員ヲ増加シタルヲ以テ校舍、寄宿舎等ノ増築改築ヲ要スモノ教具校具ノ設備充分ナラサルモノアルヲ以テ着々之カ整備ノ實現ニ努メツ、アリ。有資格教員免許狀ヲ受得シタル事由別人員ハ次表ノ如シ。

學 校 名	有 資 格 教 員																無資格		總 計											
	高等師範學校		女子師範學校		臨時教員養成所		養育教員養成所		官立大學卒業		私立大學卒業		專門學校卒業		實業學校卒業		其ノ他ニ依ル者		試驗檢定ニ依ルモノ		計		教 員		總 計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	* 1		—		3		—		—		1		—		5		—		—		10		22		5		—		27	
茨城縣立水戸中學校	* 1		—		3		—		—		1		—		5		—		—		10		22		5		—		27	
茨城縣立太田中學校	* 1		—		1		—		3		—		2		3		1		1		3		14		4		—		18	
茨城縣立土浦中學校	* 1		—		1		—		1		4		—		1		1		3		4		19		4		—		23	
茨城縣立龍ヶ崎中學校	* 1		—		4		—		—		—		2		1		1		—		6		20		1		—		21	
茨城縣立下妻中學校	—		—		2		* 1		—		2		—		6		1		—		6		17		4		—		21	
茨城縣立水海道中學校	* 1		—		2		—		2		—		—		1		—		2		7		16		6		—		22	
茨城縣立鉾田中學校	* 1		—		4		—		—		—		* 1		—		—		—		3		13		2		—		15	
計	* 6		—		17		* 1		—		9		* 1		—		4		7		39		121		26		—		147	
	* 1		—		—		—		—		—		—		—		—		—		6		12		2		—		27	

備考 * 印ハ兼務ノ者 △ 印ハ講師

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關スル狀況ニ就テ略記スルニ異動者他學校ニ比シ多ク永年勤續スルモノ少キ感アリ然シテ之レカ待遇モ幾分向上シタルモ未タ以テ満足ナリト云フヲ得ス隨ツテ優秀ナル人材ヲ招致スルコト困難ノ狀態ニアルモ之レカ爲教授上大ナル支障ヲ認メス。本年度平均額ハ教員百十五圓合監手當月八圓又年功加俸ハ百二十圓ヲ支給シ以テ待遇ノ途ヲ講シツ、アリ。

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ニヨリ品性ノ陶冶ニ努メ質實剛健ノ氣風ヲ養ヒ道徳ノ實踐ヲ督勵シ尙生徒ノ思想善導ニ就テハ特ニ周到ナル考慮ヲ拂ヒ各教科ト連絡シ批判教授シ遺憾ナキヲ期シツ、アリ然シテ學校教育ノ方針ヲシテ懲ラサランコトニ努メタリ。

生徒ノ學業ニ關シテハ教授ノ改善・進歩ヲ圖リ且ツ自學自習ノ習慣ヲ養成シ以テ平素ノ勉學ヲ獎勵シ一時的勉學ノ弊ヲ矯メ休業中ニ於テモ宿題ヲ課シ學業ノ増進ヲ圖リツ、アレハ生徒ノ學力ハ一般ニ向上シ又体育ノ獎勵ニ就テモ意ヲ用ヒツ、アレハ相當ノ成果ヲ收メタルモノト認ム。

生徒修學旅行ニ關シテハ地理歴史理化等實地研究ノ目的ヲ以テ縣内數ヶ所及關東、關西、北陸地方ヘ旅行シ相當ノ効果ヲ收ムルヲ得タリ。

入學志願者ハ逐年増加ノ傾向ニアリ而シテ大正十年度以降ノ人員ヲ舉クレハ次ノ如シ。

種別	大正十年度	全十一年度	全十二年度	全十三年度	全十四年度
本科	2,666	2,612	2,376	2,471	2,462
補習科	6	6	11	13	-

入學者父兄ノ職業別ハ次表ノ如シ。

學校名	農業	水産業	鑛業	工業	商業	交通業	公務自由業	其ノ他ノ業者	家事使用人	無職業	計
茨城縣立水戸中學校	* 41 △ 4	3	-	11	* 35 △ 3	8	* 79 △ 17 1	-	-	* 18 1	195 △ 25 1
全 太田中學校	* 91 △ 3	5	-	4	27	-	* 22 △ 3	-	1	3	153 △ 6
全 土浦中學校	* 58 △ 1	-	-	-	* 31 △ 1	-	* 29 △ 4	22	-	9	149 △ 6 1
全 下妻中學校	* 74 △ 4 1	-	-	5	23	4	* 28 △ 1	-	-	3	137 △ 5 1
全 龍ヶ崎中學校	* 88 △ 1	-	-	1	* 28 △ 1	2	* 24 △ 1	3 1	-	* 2 △ 1	148 △ 1 5
全 水海道中學校	* 74 △ 2 1	-	-	3	28 △ 1	* 5 1	* 30 △ 2 4	-	-	6	146 △ 2 7 2
全 鉾田中學校	* 79 △ 2 1	-	-	2	9 △ 1	1	10	-	-	-	101 △ 1 2 1
計	* 505 △ 17 3	8	-	26	* 181 △ 5 2	* 20 1	* 222 △ 2 30 11	* 25 1	1	* 41 △ 1 2	1,029 △ 4 56 6

學校名	有資格教員														無資格人員		計													
	高等師範學校又ハ女子高等師範學校卒業		臨時教員養成所卒業		養實ハ養成		官立大學卒業		公立大學卒業		私立大學卒業		專門學校卒業		實業學校卒業			其ノ他ニ依ル者		試験檢定ニ依ルモノ		計								
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女					
猿島郡古河實科高等女學校	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	1	1	1	1	1	5	
茨城縣鉾田實科高等女學校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	*	1	1	*	1	2	1	2	1	2	2
茨城縣取手實科高等女學校	-	-	*	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	1	-	-	1	-	*	1	3	-	-	-	-	*	1	3
計	-	6	*	2	-	-	-	1	-	2	5	-	2	2	5	△	4	1	3	△	11	1	21	1	2	1	2	1	2	25
合計	* △	5 2 1	20	* 3 1	2	1	-	2	3	* △	4 1	11	-	2	6	14	△ *	13 3 1	10	△ *	34	3 4 5	62	2	11	4	2	10	7	72

備考 *印ハ兼務ノ者、×印ハ小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有シ第二學年以下ノ教授ヲ擔任スルモノ、△印ハ講師、

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關シテハ大体師範學校中學校ニ於テ述ヘタル事項ト大差ナキヲ以テ特記スヘキモノナシ。

生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ則リ生徒ノ道德意識涵養ヲ基礎トシ時代ニ適應スル性格ノ修養ニ努メ且ツ思想ノ善導ニ留意シ一面溫良貞淑婦德ノ養成ニ特ニ力ヲ用ヒ家庭トノ連絡ニ注意シタレハ生徒學業ノ進歩モ一般ニ良好ニ進ミツ、アリ入學志願者ハ年々増加ノ傾向ニアリ而シテ本年度募集人員千五百五十二人ニ對シ入學志願者ハ二千五百七十五人ニシテ其ノ内入學ヲ許可シタルモノ千四百四十人ナリ。

本年度入學者父兄ノ職業別ハ別表ノ如シ。

學校名	農業	水産業	鑛業	工業	商業	交通樂	公務自由業	其ノ他有業者	家事用人	無職業	計
茨城縣立水戸高等女學校	*	32 1	4	* 1	13 1	80 1 3	51 1 6	-	-	30 2	210 2 14
茨城縣立土浦高等女學校		93	-	* 1	9 1	48 3	15 1	31	1	11 4	208 1 8

學 校 名	農 業	水産業	鐵 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自 由 業	其 他 ノ 業 者	家 事 使 用 人	無 職 業	計
茨城縣立下館高等女 學 校	* 59 4	—	—	25	* 34 1	—	* 26 2	—	—	6	* 150 7
茨城縣立水海道高等女學校	× 50 1	—	—	6	27	* 2 1	* 14 3	—	—	2	× 101 1 * 4
計	× 234 * 1 5	4	* 1	* 53 2	× 189 * 1 7	* 2 1	× 106 * 2 11	31	1	* 49 6	× 669 * 4 33
茨城縣立龍ヶ崎實科高等女 學 校	× 60 1	—	—	5	22	—	× 15 * 1 2	—	—	1	× 103 * 2 2
久慈郡太田實科高等女學校	58	—	—	3	17	2	18	1	—	1	100
茨城縣石岡實科高等女學校	* 20 2	—	—	7	12	1	10	—	—	2	* 52 2
茨城縣下妻實科高等女學校	* 33 2	—	—	—	15	—	12	—	—	—	* 60 2
猿島郡古河實科高等女學校	15	—	—	2	23	—	4	4	—	2	50
茨城縣鉾田實科高等女學校	* 35 1	—	—	—	15	—	4	2	—	—	* 56 1
茨城縣取手實科高等女學校	○ 45 117	—	—	—	○ 4 8	○ 1	○ 1 2	—	—	—	○ 50 128
計	× 266 * 5 ○ 117	—	—	17	○ 108 8	3 1	× 64 * 1 ○ 2 2	7	—	6	× 471 * 2 7 ○ 128
合 計	× 500 * 2 ○ 117	4	* 1	* 70 2	× 297 * 1 ○ 7 8	5 1 1	× 170 * 3 ○ 13 2	38	1	* 55 6	× 1,140 * 40 * 6 ○ 128

備考 ×印ハ第一學年轉入學者、*印ハ第二學年以上ニ係ル轉入學者、△印
ハ全上ニ依ル再入學者、○印ハ編入學ヲ許可シタル者

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格 教 員				總 計					
	學位有者		學卒又ハ學士ト稱スル者		文部大臣ノ指定シタル者		文部大臣ノ認シタル者		教員免狀依リ許有スル者		計	公立私立實業學堂ニ依ル者		其 他						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女	計		
茨城縣下館商業學校	—	—	—	—	* 1	—	—	—	5	—	* 1	—	—	—	1	—	* 1	—	11	11
商業學校合計	—	—	—	—	△ 1	—	—	—	17	—	△ 2	—	4	—	7	—	△ 2	—	41	41
久慈郡大子町立大子女子技藝學校	—	—	—	—	—	—	—	—	* 1	—	1	—	—	—	1	—	* 1	—	1	3
行方郡潮來町立女子技藝學校	—	—	—	—	△ 1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	△ 1	—	2	2
結城郡結城町立女子技藝學校	—	—	—	—	—	—	—	—	* 1	—	3	—	—	—	—	—	* 1	—	4	4
計	—	—	—	—	△ 1	—	—	—	* 2	—	6	—	—	—	1	—	△ 2	—	8	9

備考 *印ハ兼務者、△印ハ講師、

生徒訓育ニ就テハ其ノ施設ニ於テ各校多少差異ナキニアラサレトモ要スルニ實際地方ニ適應スル實際農業者ノ教育ヲ目的トシ尊農ノ思想勤勞ノ美風質實剛健ノ氣風ノ養成ニ努メ常ニ生徒ノ個性ト家庭ノ狀況トヲ調査シ其ノ長所短所ノ救済ヲ講シ以テ適切ナル知識技能ヲ授ケツ、アルヲ以テ生徒ノ學業モ一般ニ良好ニ向ヘリ。

入學志願者ハ縣及町村立ヲ通シ九百九十五人ニシテ其ノ入内學ヲ許可シタルモノ七百四十七人ナリ而シテ大正十年度以降ノ入學志願者ヲ舉クレハ次ノ如シ。

種 別	大正十年度	全 十一年度	全 十二年度	全 十三年度	全 十四年度
本 科	1,263	1,184	1,032	1,062	995
別 科	113	62	11	11	9

學校ト實業界トノ關係ハ絶エス諸種ノ機會ヲ利用シ地方當業者及農業ニ關スル施設機關ト聯絡ヲ保チ各種農產物品評會ヲ開催シ或ハ各地團體ニ職員ヲ派遣シ農業知識ノ普及改善ヲ圖ル等力メテ相互ノ接近ニ努力シツ、アリ。

商業學校ハ三校ニシテ其ノ設備ハ年ヲ逐フテ漸次改善セラレツ、アルモ茨城縣下館商業學校ハ舊下館高等女學校舍ヲ茨城縣湊商業學校ハ舊湊尋常高等小學校舍ヲ利用充當スルヲ以テ諸般ノ設備充分ナラス。

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼續シ商業道德ノ養成ニ重キヲ置キ指導獎勵ニ

努メタル結果生徒ノ學業モ増進シ漸次良好ニ向ヘリ。

生徒ノ實習ハ第四學年ニ課シ同時同業法ト模擬實踐トヲ併課シ實際的ノ教材ニヨリ商業ノ實務ニ適切ナル事項ノ練習ヲナサシメタリ。

修學旅行ニ關シテハ毎年春季一回縣内數ヶ所及關西地方ノ會社工場等ヲ參觀セシメ其ノ地方ノ地理歴史商業等ノ狀況ヲ視察シ裨益スル所尠ナカラス學校ト實業界トノ連絡ニ就テハ常ニ商業會議所ト連絡ヲ保チ地方當業者ト親シク懇談シ意見ヲ交換スル等相互ノ利益ヲ増進セシメンコトニ努メツ、アリ。

工業學校ハ縣立一校ニシテ大体前年度ト異ナルコトナク着々器械器具ノ購入ヲナシ整備ニ努メツ、アリ。

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ工業家ニ適スル品性ノ養成ニ努メタレハ生徒學業ノ進歩モ一般ニ良好ニ向ヘリ而シテ本年度ニ於ケル生徒試験成績ヲ示セハ次ノ如シ。

受験者總數	及第者總數	及第者百分率	學科總平均点
321	307	95.63	75.44

生徒實習及修學旅行ニ關シテハ工業界ノ趨勢ニ鑑ミ専門的智識ノ開發ヲ圖ル爲メ專ラ實務ノ練習ニ力ヲ致セリ。

修學旅行ハ會社工場試驗場學校等ノ實地作業及設備ノ狀況ヲ視察研究セシメンカ爲縣内數ヶ所東京關西地方ヘ旅行シ相當ノ努果ヲ收メ得タリ。

本年度ノ募集人員ハ各科五十名宛ナリシカ志願者三百五十二名ニ達シ其中ヨリ試験ノ上各四十五名宛ノ入學ヲ許可シタリ。

學校ト實業界トノ關係ニ就テハ地方當業者ト連絡ヲ保チ相互ノ利益ヲ圖リツ、アリ而シテ當業者ヨリ質疑ニ係ル醸造ニ關スル事項製紙試験ニ關スル事項鐵石、石灰ノ分析等ニ關スル委嘱等ニ就テハ斯業ノ助長ニ多大ノ効果ヲ與ヘタルモノト認ム。

職業學校ニ屬スル女子技藝學校ノ設備ニ就キ前年度同様特記スヘキモノナシ。

生徒訓育ニ關シテハ大体從來ノ方針ニ則リ國民道徳ノ振興婦徳ノ養成技能ノ發達ニ留意シ社會ノ大勢ニ鑑ミ訓育上ニモ意ヲ用ヒタル結果學業ノ進歩モ良好ニ向ヘリ。

實業補習學校ハ四百九十一校ニシテ農業四百四十八校、商業十一校、水産三校其ノ他二十九校ナリ之レヲ前年度ニ比スレハ總數ニ於テ六校ヲ減シタリ而シテ小學校ニ附設シ教員ノ大部分ハ小學校ヨリ兼務シ專任者少ナシ教授ハ概ネ季節制ナルヲ以テ之カ教育ノ普及改善ニ就キテハ實業補習教育實施要項ヲ制定シ且ツ女子補習教育機關ノ増設、專任教員ノ任用ヲ獎勵シ補助金ヲ交付シ而シテ内容ノ充實ヲ圖リツ、アリ尙各町村ニ補習教育獎勵委員ヲ委嘱セシメ入學及出席ノ督勵

ヲ圖リ地方公共自治團ノ中堅人物養成ニ努メツ、アリ。

實業補習學校教員養成所

實業補習學校教員養成所ハ大正十一年四月設置シ縣立農學校ニ附設シタル農業教員養成所ハ大正十年限リ之ヲ廢止シタリ而シテ其ノ設備ハ前年ト大差ナシ。教員ハ專任教員三人ニシテ其ノ他ハ縣立水戸農學校ヨリ兼務シ本所所定ノ訓育領綱ニ從ヒ生徒ヲ指導シ尊農ノ思想、勤勞ノ美風ノ養成ニ努メ生徒ノ學業ニ關シテモ特ニ留意シ周到ナル教授ト督勵ヲナシタルヲ以テ成績一般ニ良好ニ向ヘリ。生徒實習修學旅行ニ關シテハ諸般ノ作業ヲ實地ニ練習セシメ平素習學シタル事項ニ付之カ實地指導ノ爲メ縣内及長野、靜岡、新潟、愛知ノ各縣下ヘ旅行シ施設經營ノ狀況ヲ觀察セシメタルヲ以テ相當ノ効果ヲ收ムルヲ得タリ。入學志願者ハ郡市町村ノ薦舉ニ依ルモノト直接出願スルモノトアリ本年度入學志願者及入學者ヲ示セハ次ノ如シ。

種 別	入 學 志 願 者	入 學 者
郡市長ノ薦舉ニ依ル者	24	22
直接本人ヨリ出願ノ者	10	5
計	34	27

生徒給費ニ關シテハ縣ハ毎月一人ニ對シ二十五圓ノ學資補給ヲナシツ、アリ。卒業生ハ本年度二十七人ニシテ縣下小學校若クハ實業補習學校ニ執レモ就職シタリ。

盲學校及聾啞學校

盲學校ハ縣立一校私立一校計二校ニシテ聾啞學校縣立一校ナリ。縣立ニ係ル茨城縣盲學校及茨城縣聾啞學校ハ私立時代ノ校舍寄宿舎ヲ借受ケ使用スルヲ以テ設備充分ナラス。私立ニ係ル茨城縣土浦盲學校ハ大正十四年四月新校舍完成シタルヲ以テ教具其ノ他ノ設備ニ努メツ、アリ。教員ノ需要供給轉免俸給其ノ他ヲ略記スルニ特種教育ニ從事スルモノナレハ隨ツテ良教員少ナク缺員ノ補充頗ル困難ノ状態ニアリ。生徒訓育ニ關シテハ修身教授ニ重キヲ置キ勤勉力行ノ精神ヲ養ヒ悲觀退嬰ノ思想ヲ排除セシムヘキ様常ニ留意シ指導シツ、アリ。生徒卒業生ハ概シテ鍼按業、農業、和服袋縫業ニ從事シ自活ノ道ヲ講スルモノ多シ。

生徒失官原因ヲ區別スレハ次ノ如シ。

茨城縣盲學校

失官原因	男	女	失官原因	男	女	失官原因	男	女
角膜實質炎	1	—	色素性網膜炎	2	—	角膜潰瘍	6	7
視神經消耗症	2	1	網膜疾患	2	—	先天性	5	—
濃漏眼	2	2	トラホーム	2	—			
強度近視	1	—	眼球内結核	1	—			
外傷	2	—	遺傳梅毒	1	1	計	27	11

茨城縣土浦盲學校

失官原因	男	女	失官原因	男	女	失官原因	男	女
先天性眼球缺乏症	1	1	視神經消耗症	3	—	計	8	5
目膜潰瘍	2	2	角膜實質炎	2	2			

茨城縣聾啞學校

失官原因	男	女	失官原因	男	女	失官原因	男	女
先天性	7	7	肺炎	2	—	計	21	13
腦膜炎	4	3	中耳炎	2	1			
腦打撲	5	2	鼓膜破裂	1	—			

各種學校

各種學校ハ私立學校四十一校ニシテ其ノ内休校廢校同様ナルモノ七校アリ而シテ大多數ハ個人經營ニシテ維持困難ナル爲メ設備モ充分ナラス然レトモ相當教員ヲ有シ教授ヲナシツ、アレハ地方青年子女教導ニ貢獻スル所少ナカラス。

學校衛生

學校清潔法ノ施行ハ學校衛生上最モ重要ノモノナレハ法規ノ定ムル所ニヨリ嚴重ニ勵行セシメ又毎年定期ニ生徒兒童ノ身体検査ヲ施行セシメ其ノ成績ニ留意シ學校衛生ノ改善進歩ニ努メツ、アリ公立學校ニ學校醫ヲ設置シタルモノ小學校五百三十、師範學校二、中學校七、高等女學校十一、實業學校(甲、乙)十七、實業補習學校二、實業補習學校教員養成所一、盲學校一、聾啞學校一、計五百七十二校ニシテ兼務者多ク其ノ實人員三百四十九人ナリ而シテ學校視察ノ狀況ハ中等程度ノ學校ニ於

テハ比較的ナルモ其ノ他ニ於テハ充分ナラサルモノアリ。

學校醫ノ實人員資格ニ依リ區別スレハ次ノ如シ。

一、帝國大學醫科大學醫學科卒業者 七

一、元東京大學醫學部本科又ハ別科卒業者 七

一、官立醫學專門學校醫科及元高等學校並高等中學校ノ醫學部醫科卒業者 一一四

一、大阪府京都府愛知縣醫學校及元府縣立甲種醫學校卒業ノ者 六

一、東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科修了者 二

一、其ノ他醫術開業免狀ヲ有スル者 二一三

計 三四九

學校衛生ニ關シテハ各學校共ニ近來衛生上深甚ナル注意ヲ拂ヒ校舍内外ノ清潔法ハ勿論通風採光教具等ニ至ル迄適當ノ處理ニ努メツ、アルモ經濟上ノ關係ヨリ未タ充分ナリト云フヲ得サルヲ遺憾トス其ノ他『トラホーム』ノ豫防及治療夏季ノ衛生流行性ノ疾患及豫防等ニ對シテハ殊ニ注意スル處ニシテ夏季ニ於テハ校醫ト協力シ衛生ニ關スル印刷物ヲ家庭ニ配布シ又ハ校醫ヲシテ講話ヲナサシムル等遺憾ナク之カ豫防宣傳ニ努メ撲滅ノ方法ヲ講シタル結果傳染性ノ罹病者極メテ少數ニシテ良好ナル成績ヲ收ムルヲ得タリ。

學校園學林及樹栽

學校園ハ各學校ニ於テ校舍ノ周圍ニ小規模ノ敷材園ヲ設置スルモノ多ク之カ完備ヲ督勵シツ、アリ學林ハ山間部ニ於テ設置シツ、アルモノアルハ其ノ成績可ナルモ他ハ未タ見ルヘキモノ少ナシ而シテ學校園學林ノ植栽及手入ハ生徒兒童ヲシテ之ニ當ラシメ以テ植物ノ觀賞農業趣味ノ涵養勤勞精神ノ作興教授訓練ノ一端ニ資セシメツ、アリ。

教員檢定及免許狀授與

小學校教員檢定試験ニアリテハ毎年一回無試験ハ隨時之ヲ施行ス而シテ本年度ハ臨時試験檢定秋季一回施行シタル結果年度内檢定總人員千六百四十二人ニ達シ合格者三百六十四人ヲ得タリ其ノ他師範學校ニ依ルモノ二百九人ニシテ免許狀授與總人員ハ五百七十三人ニシテ前年度ニ比シ九十三人ヲ増シタリ。

教員講習會

縣及各郡市教育會ニ於テハ夏季講習會及日曜講習會ヲ各所ニ開催シ各科ニ就キ實際的研究ヲナサシメタルヲ以テ執レモ相當ノ効果ヲ收ムルヲ得タリ。

教科用圖書

教科用圖書供給ハ概シテ良好ナリ而シテ小學校ニ於テハ圖書ノ種類ニ依リ學年ノ始メニアリテハ多少ハ不足ヲ告ケタル所アリタルモ其ノ後供給ニ努メタレハ教授上格別ノ支障ヲ來サ、リキ。

圖書館

圖書館ハ公立三十一私立十九計五十館ニシテ其ノ設備ハ縣立ノ分ハ整備セルモ其ノ他ハ概シテ完全ナリト云フヲ得ス藏書總數ハ和漢書十一萬二千三百二十冊洋書五千九百八十四冊其他七百一冊計十一萬九千九冊閱覽人員總數二十萬五千四百五十八人ナリ。

公私立圖書館中ニハ巡回文庫ノ施設ヲナスモノ十五アリ青年會ノ施設ニ係ルモノ多ク地方改良及通俗教育上裨益スル所尠ナカラス。

教育博物館其ノ他常置教育的觀覽施設

教育博物館ノ設ナク常置教育的觀覽施設トシテ大禮記念茨城縣立教育參考館ノ設ケアリ本館ハ大正四年十一月舉行セラレタル今上陛下御即位大禮ヲ記念シ縣下教育ノ普及改善ニ資スル目的ヲ以テ設置シタルモノナリ。

陳列品ハ總數二千六百七十二點ニシテ内本館所藏二千四百二十點、保管委託百點出品借入百五十二點ナリ購入ノ重ナルモノハ動植物標本及模型電氣光學機械等ナリ保管委託ハ御食卓國寶並ニ特別保護建築物寫真日露戰役兵器彈丸新領土特產物土人ノ携帶品等ニシテ出品借入品ハ水戸藩士ノ遺墨並ニ縣内ニ於テ發掘シタル土器類尼港戰死者ノ遺物、縣内各學校生徒成績品手工等ナリ。

閱覽人員ハ總數三萬一千二百九十九人、團體數七十八組ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ五千三百四人ヲ増加シ一日平均九十六人強トナリタリ而シテ本館ノ施設漸次一般ニ周知普及セラレツ、アル結果觀覽人モ増加スルノ傾向ニアリ。

閱覽人ノ種別ハ學生生徒兒童最モ多ク青年處女之ニ亞キ其ノ他一般人ナルモ近來成人及婦人ノ來覽多キヲ加ヘ社會教育上尠ナカラス裨益ヲ與ヘタルモノト信ス。

教育品展覽會

教育品展覽會ハ町村ニ於テハ數ヶ町村聯合シ或ハ單獨ニテ兒童成績品展覽會ヲ開催シタル學校甚タ多ク學校ト家庭トノ連絡向學心ノ振興上裨益スル所少ナカ

ラス。

教 育 會

縣教育會ハ縣下各郡市教育會ノ十五團體ヨリ成リ其ノ事業ノ重ナルモノハ小學校教員養成視察員ノ派遣教育上諸問題又ハ諸教科書ノ調査編纂機關雜誌ノ發行通俗講話會開催、夜間中學ノ經營等ニシテ一般教員ノ研究修養ニ努メツ、アリ。各郡市町村教育會ハ部内教育關係者及有志ヲ以テ組織シ其ノ經費ハ市町村費ノ補助、會員ノ負擔其ノ他特志家ノ寄附ヲ仰キ之カ維持ヲ圖レリ而シテ其ノ重ナル事業ハ教員講習通俗教育講話、圖書館ノ施設、教育時報ノ發刊、學事視察、教育功勞者、優良兒童ノ表彰、學齡兒童ノ保護獎勵等ニシテ地方教育上貢獻シ、アリ。

青年團體及處女會等

時運ノ通轉ト青年ノ自覺トハ相俟テ斯團體ノ普及ヲ促進シ今ヤ縣下町村青年會ノ數五百八十餘團體ニ達シ集リテ郡市聯合青年團ヲ組織シ更ニ縣青年會ノ下ニ組織統一セラレ會員數實ニ五萬七千三百二十五人ヲ算セリ。

此カ教養指導ハ內務文部兩大臣ノ訓令ニ基キ時運ニ稽ヘ又地方ノ實際ニ徴シ夫々施設シ特ニ體育ノ獎勵ト思想ノ善導トニ意ヲ致シ之レカ爲ニ青年大會、體育指導者講習會、青年講座ヲ敢行シ身體ノ鍛鍊精神ノ修養ニ資スル所大ナリキ。

郡市青年會又其趣旨ヲ体シ青年大會、中堅青年講習會等ヲ管内各所ニ開催シ町村青年會モ亦自練的ニ各種修養施設ヲ行ヒ本國ノ眞義ノ體現ニ努力シツ、アリ其ノ施設中ノ主ナルモノハ辯論會、讀書會、講習會、講演會、會報雜誌ノ刊行、登山、見學旅行、共同耕作、品評會、競技大會、水泳武道會、敬老會、指道標建設、道路修繕、補習教育、就學獎勵等ナリ。

處女會ハ創立日尙淺ク青年團ニ比シ遜色アリト雖モ近時著シク普及ヲ見今ヤ三百九十餘團體三萬三千七百七十八人ノ會員ヲ有スルニ至レリ已ニ郡聯合會ノ設立ヲ見ルニ至リシモノ數郡アリ、サレト其施設經營ハ尙依他的ニテ内容又青年團ニ比シ一籌ヲ輸スルハ遺憾ナリ其ノ施設ノ良ナルモノハ勤儉貯蓄ノ共同實行、農作物ノ試作、敬老會ノ開催風俗習慣ノ改善各種講習會等ナリ。

通 俗 教 育

通俗教育ノ普及ニ關シテハ初メ縣教育會ニ補助金ヲ交付シテ其ノ獎勵ニ努メ郡市町村主催ノ講演會ニモ講師ヲ派遣セシメツ、アリシカ大正十年四月ヨリ社會教育主事ヲ置キ專ラ、社會教育ノ普及發達ニ努メタレハ其ノ成績漸次良好ニ向ヘリ而シテ本年度郡市町村ノ公共團體及私設團體ニ於テ講演會講話會等ヲ開催シ

タルコト實ニ五百二十六回聽講者十七萬八千二百九十六人ノ多キニ及ヒタリ又大正十一年七月圖書館ノ設置ニ關スル訓令ヲ發シ町村立圖書館施設要項及其ノ準則ヲ示シ又縣選定ノ簡易圖書館標準圖書目錄ヲ配布シテ町村立簡易圖書館ノ設置改善ヲ獎勵シタルヲ以テ簡易圖書館ノ設置セラル、モノ漸次多キヲ加フルニ至レリ又縣立圖書館郡町村教育會青年會處女會ニ於テ巡回文庫ヲ經營シ公衆ノ閱覽ニ供シ居ルヲ以テ講演會ト相俟ツテ通俗教育普及上裨益スル所多大ナリ大正十二年十一月十日國民作興ニ關スル詔書ノ煥發セラル、ヤ縣ニ於テハ聖旨ノ貫徹ヲ期スル爲メ全十二月十九日縣廳內各課長縣內各廳長水戶市長宛通牒ヲ發シ聖旨宣達奉行ノ方法ト聖旨奉行ニ關シテ特ニ留意スヘキ事項トヲ明示シテ其ノ普及徹底ヲ圖リ又持續的ニ聖旨ノ普及徹底ニ努ムル爲メ特ニ十七人ノ講師ヲ囑託シ講習會講演等ノ講師トシテ之ヲ派遣シ徹底ニ努力シツ、アリ。

教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ノ現在數ハ社團法人八、財團法人五、計十三ナリ。

縣會及市町村會

縣市町村會トモ教育費ニ關シテハ概シテ慎重ニ審議シ能ク原案ニ協賛シ漫ニ削減ヲ加フルコトナク穩當ノ決議ヲナスノ狀況ニアリ。

學事關係職員及學事視察

本縣學事係員ハ視學官一人縣視學二人屬五人雇二人外ニ兼務者一人ナリ郡市學務係員ハ郡視學十四人、市主事一人、郡市書記十六人、外ニ兼務者五人、雇五人ナリ。本年度學事視察ハ視學官縣視學ハ專ラ學校ノ設備教授訓練管理ノ良否並ニ教育事務ノ整否ヲ視察シ郡市ニ於テハ專任書記ヲシテ事務ニ當ラシメ郡視學ハ專ラ學校視察ニ從事セリ。

各市町村ニ於テハ三名乃至八名ノ學務委員ヲ置キ夫々市町村ノ教育事務ニ當ラシメタリ。

學事獎勵

學事獎勵ヲナシタルモノヲ舉クレハ縣ニ於テハ實業學校實科高等女學校縣教育會、縣青年會、縣育才會等ニ對スル補助金ノ交付小學校教員住宅費、小學校教育研究會、中等學校各科教授研究會費社會事業ノ補助獎勵等ハ略前年度同様ナリ又本年度モ小學校教育補習教育及社會教育ノ全般ニ及ヒテ其ノ功勞者及優良學校ノ表

彰ヲ行ヒタリ特ニ茨城縣兒童就學獎勵規定ヲ設ケ貧困ノ爲就學シ得サル兒童ヲ救濟シ以テ教育ノ機會ヲ均等ナラシメルコトニ努メツ、アリ、尙各郡市ニ於テモ教育功勞者並ニ優良兒童生徒青年處女ノ表彰ヲナシ或ハ各種研究會講演會ヲ舉行シ貧困兒童ノ保護救濟學齡兒童ノ就學出席ノ督勵等悅意一般教育ノ普及振興ニ努メタリ。

將來學事施設上須要ノ件

- 一、學校設備ノ充實内容ノ改善ヲ圖ルコト。
- 一、就學事務ヲ改善シ貧困兒童ノ保護救濟ヲ全カラシメ以テ義務教育ノ徹底ヲ期スルコト。
- 一、高等小學教育ノ内容ヲ充實スルコト。
- 一、師範教育ノ改正ニ伴フ設備内容ノ充實ヲ期スルコト。
- 一、中等教育機關ヲ増設シ教育ノ機會均等ヲ圖ルコト。
- 一、教員ノ實力養成ト資格ノ向上トヲ期シ職務意識ヲ一層旺盛ナラシムルコト。
- 一、通年制實業補習學校ノ設置ヲ獎勵シ季節制ノ長所ヲ益々發揮セシメ専任教師ノ増加ヲ圖ルコト。
- 一、補習學校教員養成機關ヲ整備スルコト。
- 一、青年訓練ノ徹底ヲ期スルコト。
- 一、成人教育公民教育ノ振作發達ヲ圖ルコト。
- 一、各種教化團體ノ振興ヲ圖リ其ノ他完全ナル自治ヲ期スルコト。

公學費及公學資産

本年度ニ於ケル公學費支出總額ハ七百二十三萬二千四百一圓ニシテ内縣ニ屬スルモノ、百三十三萬二千六百六十九圓市ニ屬スルモノ、四十九萬一千二百四十四圓町村ニ屬スルモノ、五百四十萬八千四百八十八圓ニシテ前年度ニ比スレハ總額ニ於テ二十七萬二千三百三十一圓乃チ〇割三分九厘ノ増加ヲ示セリ。
其ノ増減前年度ニ對比スレハ次表ノ如シ。

		公 學 費 支 出 額			
		本 年 度	前 年 度	前 年 比 比	
				増	減
縣 市 町	村	1,332,669	1,321,377	11,292	—
		491,244	145,180	346,064	—
		5,408,488	5,493,518	—	85,025
計		7,232,401	6,960,070	272,331	—

尙種別ニ依リ前年度ニ對比スレハ次表ノ如シ。

教 育 資 金

本年度小學校設備費トシテ貸附タル金額ハ五萬二千圓教育ノ獎勵其他普及改善ニ支出シタル普通教育獎勵金ハ九千九百六十圓小學校教員疾病療治料六百五十圓計一萬六千十圓ニシテ又本年度戻入タル金額ハ五萬四千五百五十八圓ナリ而シテ年度末現在貸付金額ハ九萬二千六十二圓ナリ。

教育及學藝ニ關スル資金ノ類

學事獎勵ノ爲獎學資金ヨリ本年度ニ於テ支出シタル金額ハ百七十四圓ニシテ縣立中等學校優良生徒ヲ表彰シ夫々賞品ヲ授與シタリ。

兒童就學獎勵資金

大正十三年 皇太子殿下 御慶事ニ際シ御下賜セラレタル資金二萬三千八百六十三圓ヲ蓄積シ之ニ對シ縣ニ於テモ相當金額ヲ資金ニ編入シ之レヨリ生スル收入ヲ以テ本年度ニ於テ七百八十一圓ヲ支出、五十ヶ町村ニ對シ貧困兒童獎勵金トシテ交付セリ而シテ町村ニ於テハ縣交付金ト同額又ハ之レ以上ノ金額ヲ支出シ主トシテ教科書學用品ヲ給與シ貧困兒童ノ就學獎勵ニ努力シツ、アリ。

市町村立小學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金ハ總額九萬八千二百三十圓五十四錢ニシテ年功加俸支給金額八萬六千五百五十三圓八十三錢特別加俸ハ四千六百四十二圓七十八錢縣納金八百七十七圓八十二錢ナリ其ノ差額六千六百五十九圓十一錢ハ翌年度ニ繰越シ銀行ニ預金シ置ケリ。

公立學校職員年功加俸資金

公立學校職員年功加俸資金ハ總額五萬八千五百三十五圓八十七錢年功加俸支給額ハ三萬六千九百五十七圓七十二錢ニシテ國庫納金三百二十圓五十八錢縣納金三十八圓三十七錢ナリ而シテ其ノ差額二萬一千二百十九圓二十錢ハ翌年度ニ繰越シ銀行ニ預金シ置ケリ。

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金

市町村義務教育國庫負擔法ニ依リ本年度管内市町村ニ交付セラレタル金額ハ九

十六萬九千八百四十五圓十七錢ニシテ其ノ大部分ハ教員俸給及住民負擔ノ輕減ニ充當シタルヲ以テ市町村經濟ヲ幾分緩和スルニ至リタリト認メラル而シテ之カ支途金額ヲ區別シタル前年度總額ニ比スレハ二萬四千七百九十九圓ノ増加ナリ、支途ニ依リ種別スレハ次表ノ如シ。(各市町村四捨五入)

種 別	市	町	村	計
教員俸給ニ充當シタル金額	18,932	106,096	335,804	460,832
教員増俸ニ充當シタル金額	—	11,289	28,533	39,822
教育施設改善ニ充當シタル金額	—	14,687	61,541	76,228
住民負擔ノ輕減ニ充當シタル金額	—	65,187	284,794	349,981
他ノ經費ニ充當シタル金額	—	11,099	31,973	43,072
計	18,932	208,358	742,645	969,935

公學費及公學資産増減理由

公 學 費

(一)縣ニ屬スルモノ

支出本年度總額ハ百三十三萬二千六百六十九圓ニシテ前年ニ比シ一萬一千二百九十二圓増加シタルハ雜給新營費其ノ他諸費減シタルモ學生々徒兒童給費圖書機械標本費器具費消耗品費ノ著シク増加シタルニ因ルモノニシテ其ノ主タル増加ハ學級ノ増加ニ伴ヒ備品ノ購入及生徒給費ノ支出多カリシト又軍事教練實施ニ伴フ教練費及教練用具ヲ購入シタルニ依ルモノナリ。

本年度收入總額ハ四十萬九千五百五十二圓ニシテ前年度ニ比シ三萬四千七百十五圓ノ増加ヲ示シタルハ生徒増加ニ依リ試験手数料及授業料及師範教育改善費トシテ國庫補助アリタルニ因ル。

(二)市ニ屬スルモノ

本年度支出總額ハ四十九萬一千二百四十四圓ニシテ前年度ニ比シ三十四萬六千六十四圓ノ増ヲ示シタルハ主トシテ學校職員ニ對スル待遇ヲ高メタルト新校舍ヲ建築シ器械器具ノ購入ヲナシ設備ノ充實ヲ圖リタルニ依ル。

(三)町村ニ屬スルモノ

本年度支出總額ハ五百四十萬八千四百八十八圓ニシテ前年度ニ比シ八萬五千二百十五圓ヲ減シタリ然レトモ教員俸給、旅費、器具器械標本費其ノ他ノ諸費ニ於テ幾分増加シクルモ主トシテ臨時部ニ於テ校舍ノ新築及之ニ伴フ敷地ノ購入並ニ修繕費ノ支出激減シタル爲メナリ本年度總收入額ハ百四十萬七千七百四圓ニシテ

前年度ニ比シ五萬四百三十二圓ノ増加シタルハ生徒兒童増加ニ基キ授業料及學校基本財産ヨリ生スル收入寄附金ノ多額ニアリタルト義務教育國庫交附金ノ増額シタル爲メナリ。

公 學 資 産

(一)縣ニ屬スルモノ

本年度ニ於ケル土地ハ敷地二十二萬二千三百三十五坪附属八萬二千九百六十三坪建物ハ敷地九千六百一十一坪其ノ他二萬三千十二坪ニシテ前年度ニ比スレハ土地ニ於テ敷地二千三百三十五坪附属地六百五十五坪建物ニ於テ敷地五百三十三坪其ノ他八百八坪執レモ増加シタルハ兩師範學校鉢田、龍ヶ崎、水海道中學校、下館高等女學校増築新築等ニ因ルモノナリ又土地價格器具ニ於テ前年度ニ比シ二十七萬二千七百八十八圓ノ増加シタルハ前記ノ理由ト一般備品ノ購入アリタリシニ依ル又積立金前年四千八百八十圓アリタルモ客年度ニ於テ獎學資金ニ繰入レタルヲ以テ本年減シタルモノトス。

(二)市ニ屬スルモノ

本年度ニ於ケル土地ハ敷地一萬六千六百三十一坪建物ハ敷地三千二百八十坪其ノ他一千二百六十七坪ニシテ前年ニ比シ敷地二千四百八十一坪敷地八百六十坪其ノ他三百四十二坪ヲ増加シタルハ校舍ノ新築増築等ノ爲敷地ノ擴張シタル結果ニ因ル土地價格乃至器具ニ於テ三十八萬一千四百三十五圓ノ増加シタルハ校地及設備ノ改善ヲ圖リタル爲メ購入品ノ多カリシト又學校基本財産金額ノ前年ニ比シ減シタルハ前記校地擴張ノ爲メ繰入充當シタルニ因ル。

(三)町村ニ屬スルモノ

本年度ニ於ケル土地ハ敷地ハ六萬七千四百五十五坪、附属地五萬五千九百五十二坪又建物ニ於テ敷地ハ十萬二千六百四十四坪其ノ他五萬二千三百四十六坪ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ土地敷地五萬四千四百九十三坪附属九千一百一十一坪建物ハ敷地三千四坪其ノ他三千二百十五坪及土地價格乃至器具價格ニ於テハ前年ニ比シ百一十一萬五千九百九十三圓ノ増加ヲ見タルハ校舍ノ増築改築シタルト其ノ他設備ノ改善施設ニ努メタル爲メナリ。

市町村立小學校公立實業補習學校
教員及幼稚園保姆恩給基金並恩給

恩給基金總額二十七萬二千二百六十四圓七十七錢三厘ニシテ前年度ニ因テ
 比シ二萬七千四百一圓五十一萬五千四百四十九圓九十八錢八分ニシテ前年度ニ
 ル恩給ニ比シ三萬五千四百四十九圓九十八錢八分ニシテ前年度ニシテ前年度ニ
 補充金ノ多カリシニ因ル又恩給ニ關スル支出金額ニ於テ前年度ニシテ前年度ニ
 十八圓五十三錢人員五十二人ヲ增加シタリ。